

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名 一般国道354号 ^{さかいいわい} 境岩井バイパス	事業 区分 補助国道	事業 主体 茨城県
起終点 自：茨城県 ^{さかいまちさるやま} 境町猿山 至：茨城県 ^{おいご} 坂東市生子		延長 6.3 km
事業概要 一般国道354号境岩井バイパスは、圏央道 境古河ICへのアクセス道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とし茨城県境町猿山～坂東市生子までの延長約6.3 kmを整備するものである。		
H13年度事業化	H13年度都市計画決定	H16年度用地着手
H18年度工事着手		
全体事業費	約110億円	事業進捗率
計画交通量	10,400～20,900台/日	供用済延長
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/事業全体 68/109億円 (事業費：62/104億円) (維持管理費：5.5/5.5億円)
		総便益 (残事業)/事業全体 199/199億円 (走行時間短縮便益：183/183億円) (走行経費減少便益：10/10億円) (交通事故減少便益：5.8/5.8億円)
		基準年 平成27年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=算出中(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=算出中(交通量±10%) 事業費：B/C=算出中(事業費±10%) 事業費：B/C=算出中(事業費±10%) 事業期間：B/C=算出中(事業期間±20%) 事業期間：B/C=算出中(事業期間±20%)		
事業の効果等 ・ 県西地域から圏央道境古河ICへのアクセス向上、市街地の混雑緩和が図られる ・ 第三次救急医療施設（茨城西南医療センター病院）への搬送時間の短縮により、県西地域における救急医療分野の環境改善が図られる。 ・ 第1次緊急輸送道路である国道354号の機能強化が図られる。		
関係する地方公共団体等の意見 ・ 都市計画決定の手続きや事業説明会において、周辺住民と合意形成を図っている		
事業評価監視委員会の意見 ・ 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・ 平成29年2月に圏央道の茨城県内区間が全線開通 ・ 同12月に財政投融資を活用した整備により、県内区間を含めた東北道から東関道までの4車線化について、平成34年度から順次供用し、平成36年度には全線供用するとの見込みが示された		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約37%、事業進捗率約39%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良舗装工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 土工の過不足について、近傍で実施している他事業と調整することにより、コスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。